

小松島市生物多様性農業推進協議会（徳島県小松島市）

R5補正
R6当初

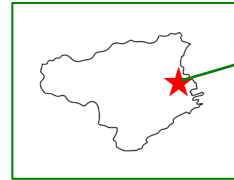
62

背景・課題

小松島市では、これまで、効率的な水田営農に向けた農地集積のほか、地域の生態系を守るため、環境に配慮した有機農業の推進を図ってきた。

しかし、農業者の高齢化と後継者不足が深刻な状況にあり、新規就農者の育成支援や栽培技術の伝承のほか、経営安定化に向けた農産物の付加価値向上などが課題となっている。

そこで、有機農業の栽培技術を普及するとともに、地域の有機農産物の販売促進、市民の理解・関心の増進など、有機農業が実践しやすい地域づくりに取り組むことで、持続的な生産現場の構築を目指している。



小松島市

構 成 員

J A 東とくしま、コープ自然派事業連合、とくしま有機農業サポートセンター、地元企業、農業者、小松島市等

品 目

水稻

成果目標

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ○有機農業の取組面積の拡大（水稻） | R3年度37.4 ha → R9年度47.4 ha |
| ○有機農業の取組農業者数の増加 | R3年度28 経営体 → R9年度33経営体 |
| ○PGS（参加型認証）を参考とした相互確認 | R3年度0 件 → R9年度2件 |

主な取組内容

- 生産：新規就農希望者や有機農業者の技術習得・向上を図る有機栽培講座の開催（全4回）
- 加工・流通：首都圏イベントでの市産有機農産物のPR
- 消費：一定期間、市内小中学校の米飯給食を栽培期間中化学肥料及び化学合成農薬不使用の米に置き換え

生産：「有機栽培のイネづくり」をテーマとした有機栽培講座の様子



加工・流通：市産有機農産物のイベントでのPRの様子



普及に向けた取組

- 有機栽培への転換を促す有機栽培講座を実施し、有機農業に転換予定の農業者、新規就農希望者に知識習得の場を提供するとともに、既存の有機農業者の技術の維持向上を図る。
- JA東とくしま及びコープ自然派と連携した有機農産物のブランディング・販売等を実施し、全国への販路拡大や市産有機農産物の知名度・ブランド力の向上につなげる。
- 市内小中学校での給食利用等の取組により、有機農産物の需要創出や消費者理解の増進を図る。

問い合わせ先

小松島市生物多様性農業推進協議会事務局
（小松島市農林水産課 内）TEL:0885-34-9292